

# ひったくり・恐喝

## 手口と現状

### ● ひったくり

本県における令和3年中のひったくり被害は7件で、前年に比べて2件(40%)増加しました。バイクや自転車で後ろから近づき、追い越しざまに歩いている人のバッグや自転車の前かごからバッグ等をひったくる手口が発生しています。

金融機関やスーパーなどの駐車場から後を付いて、人通りの少なくなったところで犯行に及ぶケースもあります。

犯人は、顔が分からないようにヘルメットをかぶったり、ナンバープレートを折り曲げて隠したりします。

### ● 恐喝

県内における令和3年中の恐喝被害は25件で前年に比べて2件(8%)増加しました。

## 被害に遭わないために

ハンドバッグ等の荷物の持ち方や、周囲の様子に注意を払うなど、ちょっとした工夫が被害を防ぎます。裏通りや夜間などは、特に注意が必要です。

### ● ひったくりに遭わないために

#### ▼ 歩いているときは

● バッグをたすき掛けにする。

● バッグを車道と反対側に持つ。

● なるべく歩車道の区別があり、人通りの多い明るい道路を通る。

● 歩車道の区別の無い道路では周囲の様子を確認し、後ろからオートバイや自転車が近づいてきたら、バッグをしっかりと抱え、道路の脇に寄って通り過ぎるまで注意する。

● 夜遅くなるときは、タクシーなどを利用する。

● 携帯電話を使用する際には、周囲への注意を怠らないようにする。

● 貴重品は手提げ袋などに入れず、身につける。

#### ▼ 自転車に乗っているときは

● 自転車の前カゴには防犯ネットを取り付ける。

防犯ネットは、自転車販売店やホームセンター等で購入できます。バッグの上に雑誌などを載せるだけでも効果があります。



● 自転車のハンドルにバッグの持ち手をかけない。(ひったくりに遭うリスクに加え、バッグの持ち手が絡んで転倒して怪我を負うなど、大変危険です。)

### ● 恐喝に遭わないために

● 高価な物、現金については目立つような方法で持ち歩かない。

● 金融機関で多額の現金を引き出す時は単独での行動は差し控える。

● 非行少年等がたむろしている場所への立ち入りを避ける。

● 遠回りになっても暗がりや人通りの少ない道路の通行は避ける。

● 不審な人が一定の距離(時間)を置いて付いてくるような場合は、店舗等に入店して様子を見たり、人通りの多い通りに迂回する。

● いつでも使える状態で防犯ブザー等を携帯する。



## 被害に遭ってしまったら

● 大声で叫んだり、防犯ブザーを鳴らして近くの人に助けを求めろ。

● 「子ども安全協力の家」、「かけこみ110番の店」などへかけ込み、助けを求めろ。

● できる限り犯人や乗り物の特徴を覚え、すぐに110番通報する。

● カメラやカメラ付携帯電話などを持っている時は、可能な限り犯人や犯人の使用車(交通手段)などを撮影し、記録する。

● 素早い通報で警察ヘリコプターが出動し、犯人検挙につながった事例もあります。